

## 1. 一般社団法人日本病理学会令和 8 年度定時社員総会 のご通知

来る令和 8 年 4 月 16 日 (木) 17 時 10 分より 18 時 45 分までグランドメルキュール札幌大通公園ホールルームに於いて、一般社団法人日本病理学会令和 8 年度定時社員総会を開催いたします。下記の事項の審議となりますので、ご出席くださいますようお願い申し上げます。諸般の事情により予定が変更となる場合はホームページにて速やかにお知らせをいたします。会員におかれては、会員システムからのメール配信等とあわせてご留意いただけますよう、よろしく願いいたします。

### 記

#### 議 題:

1. 令和 8/9 年度役員選任の件
  2. 令和 8/9 年度理事長選任の件
  3. 令和 7 年度収益事業会計収支決算に関する件
  4. 令和 8 年度新名誉会員推戴の件
  5. 令和 8 年度新功労会員推戴の件
  6. 令和 8 年度新学術評議員承認の件
  7. 第 74 回 (令和 10 年度) 秋期特別総会会長選出の件
  8. 第 118 回 (令和 11 年度) 総会会長選出の件
  9. その他
- 以上

## 2. 令和 8 年 診療報酬改定速報「第 13 部 病理診断」 について

2025 年 3 月 5 日、令和 8 年診療報酬改定に関して、告示 (点数)、通知 (細かい留意事項) および施設基準などが発出されました (本改定の実施は「令和 8 年 6 月 1 日から」で、「令和 8 年 5 月 31 日まで」は現行通りです)。

「第 13 部 病理診断」では以下の改定がなされました。

### ①: 病理診断管理加算が増点

#### 病理診断管理加算 1 (組織)

120 点 ⇒ 138 点 に 18 点の増点

#### 病理診断管理加算 1 (細胞診)

60 点 ⇒ 69 点 に 9 点の増点

#### 病理診断管理加算 2 (組織)

320 点 ⇒ 368 点 に 48 点の増点

#### 病理診断管理加算 2 (細胞診)

160 点 ⇒ 184 点 に 24 点の増点

- ②: 病理組織検体で、特殊染色加算 50 点 が 新設
- ③: 婦人科以外の細胞診で、特殊染色加算 50 点 が 新設
- ④: 国際標準病理診断管理加算 病理診断管理加算に 10 点をさらに加算

令和 8 年診療報酬改定は、全体で 3.09% のプラス改定との報道がありますが、これらの増額は主として「医療従事者や事務職員へのベースアップ」「物価上昇分」に対しての増額対応 (看護補助者、事務職員、40 歳未満の医師・歯科医師、薬局薬剤等: 看護補助者、事務職員等は 5.7%、他は 3.2% のベースアップを目標) であり、個別の技術に関しては厳しい改定となりました。その中で「第 13 部病理診断」は増額改定となっており、非常に評価できる改定となりました。関係者の皆様のご尽力に感謝申し上げます。詳細は以下 HP をご参照ください。

<https://www.pathology.or.jp/jigyuu/20260309.html>

## 3. 2026 年度病理専門医試験・口腔病理専門医試験に ついて

2026 年度の病理専門医試験・口腔病理専門医試験は、8 月 22 日 (土)、23 日 (日) に東邦大学にて実施いたします。

### ■受験申請期間

医科: 2026 年 4 月 1 日 (水) 13 時から 2026 年 5 月 1 日 (金) 13 時まで (電子申請のみ)

口腔: 2026 年 4 月 1 日より 2026 年 4 月 30 日まで (郵送のみの受付・消印有効)

### ■試験に関するお問い合わせ

日本病理学会事務局

E-mail: [jsp.office@pathology.or.jp](mailto:jsp.office@pathology.or.jp)

### ■試験要綱については下記よりご確認ください。

2026 年度 病理専門医試験申請要綱

<https://www.pathology.or.jp/senmoni/semi-shiken/2025.html>

2026 年度 口腔病理専門医試験申請要綱

<https://www.pathology.or.jp/senmoni/oral-senmoni-shiken/2025.html>

## 4. 「固形癌 HER2 病理診断ガイドランス (第 3 版)」発 出について

この度、日本病理学会では、近年の HER2 標的治療薬や検査法の臨床導入状況を踏まえ、「固形癌 HER2 病理診

断ガイダンス 第3版」を策定いたしました。ご活用いただきますよう、よろしくお願いいたします。

参照 HP:

<https://www.pathology.or.jp/news/HER2guidelines2026.pdf>

## 5. 令和7年度日本病理学会100周年記念病理学研究新人賞 公開2次審査の御案内

この度は日本病理学会100周年記念病理学研究新人賞の公募に、多数ご応募いただきありがとうございます。資格ならびに応募内容の厳正な審査の結果、8名が2次審査に選ばれました。2～3名の選考のために下記の日時に公開2次審査を行いますので、是非出席ください。

審査会日時: 2026年4月16日(木) 8:30-10:30

場所: 第115回日本病理学会総会 第9会場

(札幌市教育文化会館4F, 講堂)(北海道札幌市)

<https://www.congre.co.jp/115jsp/>

候補者(発表順):

前田勇貴(名古屋大学)

「病理学的観点から明らかにする酸化ストレスとがん」

石川 励(浜松医科大学)

「原発性空腸・回腸腺癌の免疫組織化学的および分子進化的特徴の解明」

外園晋夫(東京大学)

「上部消化管腫瘍における染色体外DNAの臨床病理学・分子遺伝学的特徴」

内藤 裕(名古屋大学)

「HTLV-1キャリアにATLL以外のT細胞リンパ腫は生じる — 厳密な証明と日常診断における鑑別法 —」

内海由貴(東京医科大学)

「唾液腺導管癌の分子病理学的特性とその臨床的意義: p53/TP53に着目した予後規定因子の探索」

松澤鎮史(徳島大学)

「新生仔期胸腺における制御性T細胞の分化不全が自己免疫疾患発症に及ぼす影響」

長瀬駿介(東海大学)

「FFPEを用いた包括的解析によるEBV陽性B細胞リンパ腫の再定義」

加藤 秀(東京科学大学)

「食道扁平上皮癌の進行や予後を規定するがん関連線維芽細胞に関する解析」

以上、8名

## 6. [参加者募集] カロリンスカ大学病理 訪問のご案内 (2026年9月)

国際交流委員会が毎年主催しているモーニングセッションの「リアル版」として実施しております海外病理教室見学会企画は、本年で第3回目を迎えます。

本企画は、「海外で活躍する病理医をより身近に感じてもらいたい」という思いから始まりました。机上の情報だけでは得られない、現地の空気、診療体制、教育環境を直接体感していただくことを目的としております。

今回は、スウェーデン・ストックホルムで9月12日-16日開催予定の第38回欧州病理学会にあわせ、カロリンスカ大学病理を訪問いたします。

同大学は、基礎研究から応用医療に至るまで、世界を牽引する医学教育・研究拠点として広く知られております。ヨーロッパにおける病理診療・研究・教育の最前線を、実際に見て、感じていただける貴重な機会です。

本企画は、海外留学や海外での病理診療・研究活動に関心をお持ちの、特に若手病理医の先生方を主な対象としております。

留学を具体的に検討されている先生はもちろん、諸事情により長期留学が難しい先生にとっても、海外の医療・教育システムを直接見学できる大変意義深い機会となります。

将来のキャリア形成の一助として、ぜひ積極にご応募ください。

多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

### ■訪問内容(予定)

- ・病理診断部門(検体処理, 標本作製, 日常診断業務の流れ)
- ・分子病理・遺伝子検査部門
- ・病理教育システム

### ■日時

2026年9月11日(金) 終日

※現地または近隣での集合・解散を予定しております。詳細は参加者に後日ご案内いたします。

### ■参加費用

渡航費・宿泊費等の実費は、すべて自己負担となります。あらかじめご了承ください。

### ■申込方法

以下の必要事項をご記載のうえ、E-mailにて日本病理学会事務局までお申し込みください。

締切: 2026年7月31日(金)

宛先: 日本病理学会事務局 [jsp.office@pathology.or.jp](mailto:jsp.office@pathology.or.jp)

メール件名: カロリンスカ大学病理 訪問ツアー 参加希望

本文記載事項:

- 1) 会員番号
- 2) 病理専門医取得年
- 3) 氏名(日本語・英語)
- 4) 所属(日本語・英語)
- 5) E-mail アドレス
- 6) 志望動機

以上

## 7. 2026 年度 剖検講習会について

第 115 回日本病理学会総会でオンデマンド開催される 2026 年度剖検講習会についてお知らせします。病理専門医・口腔病理専門医試験受験予定者は受講必須の講習会です。未受講の方は受験までに 1 度は必ず受講し、受験資格用の受講証を取得してください。受験資格用の受講証取得には、課題に対する回答レポートの提出が必要です。詳細は以下 HP よりご確認ください。

[https://www.pathology.or.jp/senmoni/seminar\\_of\\_autopsy\\_diagnosis2026HP.pdf](https://www.pathology.or.jp/senmoni/seminar_of_autopsy_diagnosis2026HP.pdf)

## 8. 「免疫組織化学検査項目および実施件数等に関する実態調査」終了のご報告

日本病理学会 医療業務委員会/精度管理委員会では 2024 年度の活動の一環として「免疫組織化学検査項目および実施件数等に関する実態調査」を実施し、本調査が終了いたしましたので、ご報告申し上げます。

本調査にご協力いただきました医療機関の皆様、ならびに企業・団体の皆様に心より感謝申し上げます。調査にご回答いただきましたご施設へは、後日、施設責任者および病理技術担当責任者宛てにメールにて、調査結果の詳細[参加施設報告版]を送付させていただく予定です。

なお、本調査結果の一部は、第 115 回 日本病理学会総

会（札幌）ワークショップ「免疫組織化学検査全国調査から考える：病理の精度管理」にて報告を予定しております。

調査結果の概要等詳細は下記 HP よりご確認ください。  
<https://www.pathology.or.jp/news/members/committees/post-20260224.html>

本調査に関しご不明な点等がございましたら、以下のお問い合わせ先までご連絡ください。

お問い合わせ先

【本調査結果の利活用について】

担当委員・ワーキンググループ長

北海道大学病院 先端診断技術開発センター（C-DAD）

畑中 豊

メールアドレス：yhatanaka@huhp.hokudai.ac.jp

【その他本調査全般について】

IHC 実施状況調査ワーキンググループ事務局

お問い合わせ専用メールアドレス：

c-dad-jimu@pop.med.hokudai.ac.jp

## 9. 会員の訃報

以下の方がご逝去されました。

上田真喜子 名誉会員（令和 8 年 2 月 16 日ご逝去）